



橋田小だより

令和3年5月21日

第274号

Tel 0250-41-0055

Fax0250-41-0056

五泉市立橋田小学校

「なりたい自分」を目指してチャレンジ

校長 齊藤 カオル

4月27日、28日に分散学習参観が行われ、たくさんの保護者の皆様よりご来校をいただきました。ありがとうございました。参観後の「学校運営方針説明会」は、グランドデザインや「橋田小学校いじめ防止基本方針」について、保護者の皆様に具体的な取組をお伝えすることができる貴重な会となりました。

この会で保護者の皆様に「3つのお願い」をしました。以下の通りです。

- ① 我が子(子ども)にも「ありがとう。」と思いやりを！(子どもをもっとかわいがる、頑張りを見つけて褒める)
- ② 我が子(子ども)を見守る！(気配り・目配りでおや？！と気付く)
- ③ 協働ボランティアになってください！

保護者の皆様には、引き続き、この取組をよろしくお願いいたします。私たち学校職員も①②に一層努めてまいります。地域の皆様からもこの取組を知っていただき、保護者の皆様と一緒に協力をいただければ幸いです。

「なりたい自分」…これは、以前から私の大好きな言葉です。ですから、橋田小の昨年度の「目指す子ども像」を表す言葉として、この言葉が使われていたことを知り、驚きました。橋田小の子どもたちは、すでに「なりたい自分」を目指して頑張る姿勢が身に付いてきているということになります。5月の全校朝会では、「なりたい自分を目指して、チャレンジしてほしい。」と水泳の池江璃花子選手の言葉を例に出して、子どもたちに話をしました。

池江選手は、今年4月、大病を克服し、100mバタフライで優勝した時に「努力は必ずむくわれる。」と言いました。その陰には、「思っていたよりも何十倍、何百倍、何千倍しんどい闘病生活」において、「オリンピックに出場する自分」というなりたい自分になるために「私は、絶対にあきらめない。」と、強い信念をもち、努力を続けた姿がありました。子どもたちには、**努力を続ける経験と努力が報われる喜びの経験**の両方をさせたいものです。

運動会の季節、「運動会で輝く自分」を目指して、どの子どもたちも頑張る姿を見せてくれています。その姿は、見ている私たちに感動させ与えてくれます。運動会を盛り上げる方法を自ら考え、下学年に示してくれる6年生。最高の応援をしようと応援団の話に目線を向けて、じっくりと聞く全校の子どもたち。運動会当日は、子どもたちの晴れ舞台です。子どもたちがどんな姿を見せてくれるか大変楽しみです。



声が出せないみんなの分を工夫でカバー



1年生と同じ目線になろうと膝をつく6年生

5月11日に五泉北中学校の生徒会本部役員の生徒7名が橋田小に来て、挨拶運動を行いました。また、全校の子どもたちに向け、「心の込もった挨拶の大切さ」についての劇を行いました。中学生の姿は、見ていると大変気持ちのよいものでした。橋田小の子どもたちにとって、中学生の姿は「なりたい自分」の姿となったようです。

橋田小では、廊下で学校職員に会うと、「こんにちは。」と進んで挨拶をする子どもたちの姿を見ることができます。大変うれしい姿です。これからも保護者の皆様・地域の皆様の力をお借りしながら、子どもたちが「なりたい自分」になれるよう全力で支援に当たっていきます。